

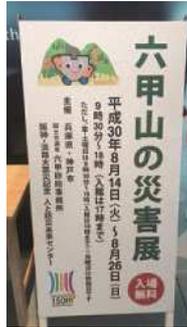
# 六甲山における防災・減災対策を学ぶ 「六甲山の災害展 2018」の開催

## 神戸県民センター六甲治山事務所・農政環境部農林水産局治山課

### 1. はじめに

今日の六甲山は、神戸・阪神地域に鎮座する緑豊かな県民の憩いの場となっています。しかし過去には、木々がほとんど生えていなかった時期があり、幾度も豪雨による土砂災害によって県民の生活に甚大な被害を及ぼしました。現在の六甲山は、はげ山や崩壊地に植林を行い、併せて土砂災害を防止するダム等の工事を行なうことで、豊かな緑が維持されています。

これら多くの歴史から学び、今後の防災・減災活動に活かしていく取り組みとして、今年度も8月14日から26日までの間、人と防災未来センターにて「六甲山の災害展」を開催しました。



### 2. 災害の歴史を学ぼう

明治期には裸地化していた六甲山や、「昭和13年阪神大水害」「昭和42年豪雨災害」また「阪神・淡路大震災」等の大規模災害発生時の貴重な記録や復興への取り組みを映像やパネルで紹介しました。



災害展の様子

### 3. 防災情報を調べよう

いざという時の行動に役立てるため、事前に危険な箇所や避難場所を把握しておくことは重要です。このため「防災マップ」や県のHPに掲載されている「CGハザードマップ」による情報の確認をおこないました。



阪神大水害の記録映像を紹介



はげ山であった六甲山と復旧を紹介

### 4. 実験装置で体感しよう

人気の実験コーナーでは、土石流の発生仕組みや治山ダムの効果を体感できる模型実験や3D立体映像、また、森林土壌の保水力を比べ



ハバタンも熱心



防災マップで自宅周辺を確認

### 5. おわりに

本年度は、7月に発生した西日本豪雨や度重なる台風災害等、全国各地で多くの被害が発生し、ニュース等でこれらの光景をよく目にする機会がありました。この影響もあり、来場者数は昨年を大幅に上回り4000人を越える結果となりました。

また、来場者へのアンケート結果では、来場した約63%の方から「防災意識が向上した」と回答があり、「避難場所や危険な箇所、防災グッズの確認をする」等の感想が寄せられました。

自然の驚異は人智を越えると言います。

六甲山という、様々な歴史を重ねてきた「実績」を通じて、常日頃から県民の皆さまの防災意識向上と、いざというときの適切な行動に役立てられる情報発信に取り組み、山地防災対策の先導役として、今後も防災・減災の普及啓発を進めていきます。



保水力の違いを体感



土石流実験装置による実演

る「保水力実験」や六甲山の基岩である花崗岩に触れるコーナー、他にも災害発生仕組みがわかる地すべりやがけ崩れの模型実験装置等を展示し、多くの来場者が実際に体感しました。